

目 次

まえがき	村田 茂	
I 問題の所在と課題をめぐって		1
II 研究の計画と経過		5
III 研究の展開		
教育実践現場からみた理論と実践について	中川 奥治	7
実験研究と臨床研究について	志村 洋	9
特殊教育における「科学的」とは	落合 俊郎	15
視覚障害児と運動行動の発達	千田 耕基	21
能動的心理活動としての運動		
—— 感覚と運動の関連から ——	久田 信行	27
動きの主体としての自己	徳永 豊	33
からだの動きを介した自己-他者関係の成立過程		
—— 動作体験に基づいて ——	緒方登士雄	39
身体にとって表現とは何か		
—— 動作の対象化と再構成の機構 ——	滝坂 信一	45
IV 本研究の展望		59
研究協力機関、研究協力者、研究分担者		61